

安全への考動

お客様に「安心」「信頼」していただくために vol.50

架線の安全を守る

高速で走行する電車に電気を安定して供給するためには、電車のパンタグラフと地上約5メートルの高さにある架線が常に接触している必要があります。そのため、架線が決められた高さを常に確保できているか、傷など修繕が必要な箇所がないかなどを、検測車や人による検査により定期的に確認しています。



【架線を測定し修繕が必要な箇所がないかを確認】

「列車を安全に走行させるために、設備管理には細心の注意を払っています」と電気部門社員。



検測車により架線の状態をデータで収集し、分析を行っています。



急な架線のトラブルに対応できる技術・技能を高めるため実践的な訓練を重ねています。

【架線の断線を想定した復旧訓練】